

研究員 の眼

2017年婚姻届における 初婚男女の年齢組み合わせランキング② —なぜ結婚希望が叶わないのか— 10・20代男性編／妻の年齢ゾーン別分布状況

生活研究部 准主任研究員 天野 馨南子
(03)3512-1878 amano@nli-research.co.jp

【はじめに】

[前回のコラム](#)では、「2017年に婚姻届を出し、結婚生活を開始した」36万件の初婚同士のカップルについて、男女の年齢の組み合わせの多い順にランキング形式で紹介した。

多様化が進みつつある時代・晩婚の時代といっても、成婚カップルの組み合わせで見た発生確率的には、男女とも一定の期間に婚期が集中していることを紹介した。

今回は、読者がより身近に活用できるように、成婚者の年齢別に相手の年齢の発生確率を示してみたい。

【10代後半～20代の相手年齢の分布状況 — 男性編】

最初に、男性が結婚可能となるのは法律上18歳からであるので、18歳～19歳の男性の状況を見てみることにする。

対象となる成婚が4403件あったが、そのうちの4組に3組（3294件）は10代後半の妻との結婚となった。2番目に多いのは1028件の20代前半の女性との年上妻婚となっている（図表1）。

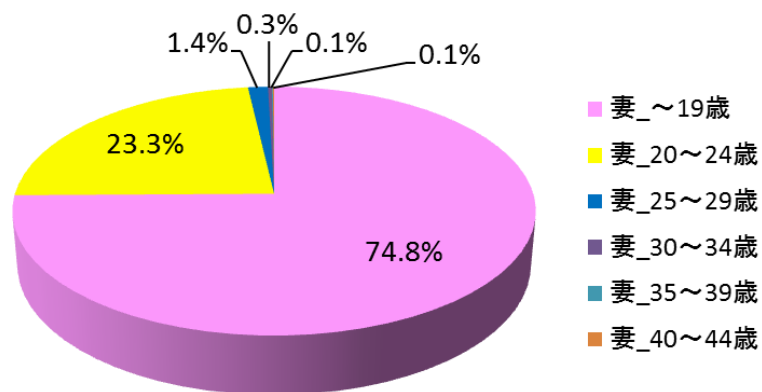
この両者の合計で98%となるので、10代後半の男性の結婚は、

①10代後半の女性：20代前半の女性 がほぼ 3：1

②年上の妻が4組に1組発生

ということが出来る。

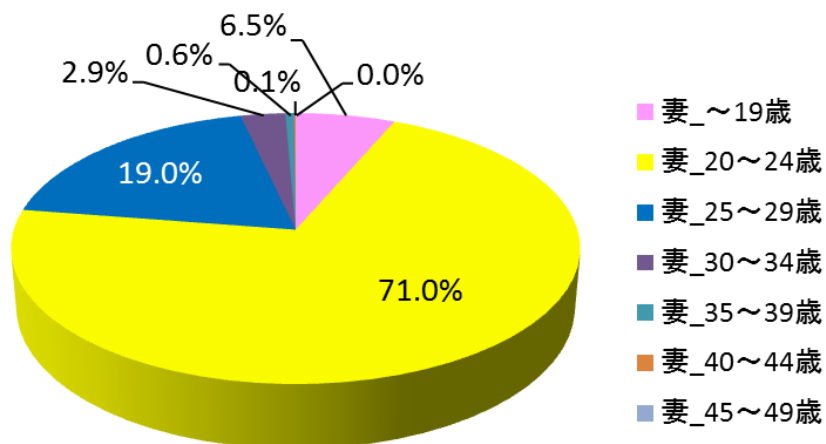
【図表 1】 2017 年成婚男女の年齢組み合わせ／10 代後半男性とその妻の年齢（％）



資料) 厚生労働省「人口動態調査」より筆者作成

次に、20 代前半の男性の結婚であるが、最も多かった組み合わせは同じ 20 代前半女性との成婚 3 万 3914 件であり、7 割を占めた（図表 2）。同じ年齢ゾーンであるので、男女どちらが年上の可能性もあり、このデータではその中身は示していない。

【図表 2】 2017 年成婚男女の年齢組み合わせ／20 代前半男性とその妻の年齢（％）



資料) 厚生労働省「人口動態調査」より筆者作成

2 番目に多いのは、明らかに年上の 20 代後半女性との結婚の 9073 件で、全体の 2 割を占める。10 代後半女性との結婚も 3091 件で 6.5%発生している。

以上から、20 代前半の男性の結婚は、

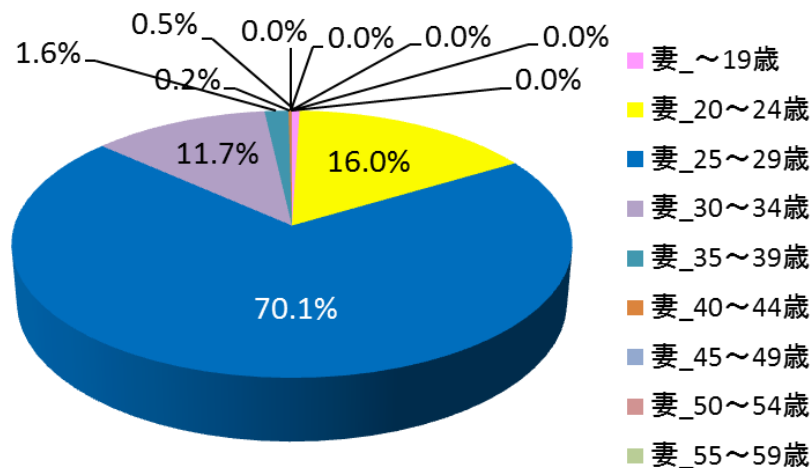
③20代前半妻が7割で、20代妻との結婚は9割にのぼる

④自分の年齢ゾーンより年上の妻が5組に1組発生

ということが出来る。

最後に、20代後半男性の妻の年齢をみてみると、やはり同じ20代後半の女性が7割を占める（図表3）。

【図表3】2017年成婚男女の年齢組み合わせ／20代後半男性とその妻の年齢（%）



資料) 厚生労働省「人口動態調査」より筆者作成

2番目に多いのが明らかに年下の20代前半女性との結婚で、6件に1件程度発生している。また30代前半の明らかに年上女性との結婚も1割超となっている。

20代後半の男性の結婚は、平均初婚年齢の組み合わせイメージから30代前半男性と20代後半女性カップルが多数派かのような世間のイメージがあるものの、[当シリーズ①](#)でみたように30代前半男性を成婚数で圧倒しており、その相手となる女性は

⑤20代妻との結婚は9割、うち20代後半妻が7割

⑥自分の年齢ゾーンより年上の妻が10組に1組以上で発生

となっている。

【20代男性の結婚は、20代妻が87%・30代妻が10%】

理想はさておき現実的な成婚を分析すると、20代男性の結婚は、2017年の20代男性の結婚18万7千件のうち87%を占めた20代女性をターゲットとすることがもっとも成功しやすい、ということが出来る。

ただ、図表 2・図表 3 から、20 代女性ならば何歳でも成功しやすいというわけではなく、同じ 5 歳年齢ゾーンの女性であることが確率を大きく引き上げることが示されている。

結婚相談所や支援団体において、男性からの人気が非常に高い 20 代女性ではあるが、

男性本人が 20 代であり

マッチングしたい女性と年齢が近い

ことが、20 代女性とのマッチングにおける競争力において圧倒的な強みを見せることが示されているデータであるともいえる。

またデータからは、20 代女性との結婚を望むならば、男性も同じ 20 代のうちに結婚を決める覚悟が必要である、ということも出来るだろう。

次回は 30 代男性について同様に、発生状況の分析結果を紹介したい。

ⁱ 36 万件のうち、20 代後半男性の成婚 14.0 万件、30 代前半の成婚 9.2 万件で 1.5 倍